

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月8日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|--|
| 事業所番号 | 4670104100 |
| 法人名 | 有限会社 ウェルケア |
| 事業所名 | グループホーム 陽だまりの家 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市吉野町4880番地15 (電話) 099-295-7240 |
| 自己評価作成日 | 令和3年12月20日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 令和4年2月25日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

(1) 各利用者様のかかりつけ在宅医と密に連携をとり、ご本人様・ご家族様が望まれる医療を受けられるよう、施設看護師を中心にバックアップ体制を整えている。

(2) 地域の他介護施設やケアマネージャーと協働し、在宅復帰に向けてのご支援も可能である。

(3) 施設内外での勉強会の実施や、職員の資格取得を支援することで、ケアの質の向上に努めている。

(4) 栄養士が献立を作成し、日々の栄養管理を行っている。季節を感じて頂ける食事や菓子の提供に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は職員が毎月出された課題を学習し、理念について具体的支援を全員がイメージでき、共有して関わっている。また、家庭的な雰囲気の中で利用者一人ひとりと向き合い、その人の良さを把握しその人らしい生活ができるよう関わっている。
- ・家族のアンケートから、職員は優しく・親切に・丁寧に対応し、細かい所に配慮する等の礼儀の良さを、家族は感じている。
- ・代表者は定期的に利用者の意見を傾聴し、思いを汲み取り、職員に伝え、サービス向上に努めて、連携・協力関係を構築している。
- ・職員は代表者に個別の相談もでき、代表者は働きやすい環境作りをしている。
- ・入所前からのかかりつけ医や協力医療機関との24時間医療連携体制で適切な医療が受けられるよう支援している。
- ・毎月の食事便りと写真付きの生活状況、コロナ感染状況を一筆書きし家族へ送付している。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | <p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p> | <p>理念の共有と実践の為、理念の勉強会も実施し、抽象的になりがちな理念を具体的なケアとして結びつけるよう努めている。</p> | <p>理念は玄関やフロア・トイレ等に掲示しパンフレットにも掲載している。各自が毎月2つのテーマを学習し、理念についてアンケート形式で具体的ケアをイメージし、全職員が共有して実践に繋げている。</p> | |
| 2 | 2 | <p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p> | <p>日頃の散歩や行事食のお裾分け、回覧板のお届け等を通じて交流を持ち、野菜などを頂くこともある。※コロナウイルス感染予防の為、現在積極的な交流は控えている。</p> | <p>町内会に加入し回覧板で地域情報を得ている。コロナ禍で地域行事は自粛している。ホーム側も中学生の職場体験や新任教員の研修・ボランティアの受け入れはしてない。天気の良い日は少人数の散歩時等に挨拶や野菜の差し入れ等があり交流している。</p> | |
| 3 | | <p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p> | <p>地域の方々の身近な相談窓口となるよう努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>コロナウイルス感染予防のため、会議は縮小しているが、町内会長や民生委員と定期的な意見交換を行っている。家族参加がないことが課題である。</p> | <p>コロナ感染症拡大により、3年度は12月に1回だけの実施となっている。コロナ禍の為、定期的な開催は自粛しているが、管理者が町内会長や民生委員と電話にて連絡をとったり、行政に出向きホームの現状等を報告している。通常の会議参加者にも報告し、意見をサービス向上に活かしている。</p> | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p> | <p>生活保護や介護認定の手続き等で頻繁な行き来がある。</p> | <p>市担当者とは日頃から直接出向き、書類提出やホームの実情等を積極的に報告し連携や協力関係を築いている。介護相談員の受け入れはしているが、コロナ禍で訪問はない。生活保護課の職員と電話や訪問で情報共有している。市主催の研修は受けている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>身体拘束廃止委員会が中心となり、勉強会やアンケートによる意識調査を実施している。パーソン・センタード・ケアを全ての職員が基本として、命に関わらない限りは行動制限はせず、利用者様の心身に拘束のないケアに努めている。</p> | <p>身体拘束廃止委員会を中心にマニュアルを基に勉強会や身体拘束についてのアンケート調査を実施し結果を勉強会で資料作成し、職員の資質向上に活かしている。日中の玄関施錠はせず、外出希望の場合は利用者の特性に応じて、見守りや散歩支援をしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待に関する勉強会やアンケートを実施している。特に言葉による暴力や身体拘束に注意喚起し、理念にも組み込んでいる。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 利用者様の必要性に応じて制度を活用出来るよう支援し、職員全員が、利用者様にとって一番身近な権利擁護者である自覚を持つよう努めている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約に至るまでの過程を通して、不安や疑問点がないかを尋ねその都度話し合いを行い、納得して頂いた上で契約・解除をしてもらうようにしている。 (※体験デイ等はコロナウイルス感染防止の為中止)。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 現在、コロナウイルス感染予防のためご家族の面会は中止しているが、電話等でご要望等窺い、アンケートも実施。利用者様御本人から直接意見や不満をお話して下さることも多く、すぐに会議での検討・ケアの改善を行なっている。 | 利用者からは日々の関わりの中で意見などを聞いている。家族には窓越し面会や電話・アンケート調査で意見や要望を聞いている。毎月、食事便りや写真付きで生活状況、コロナ感染状況について一筆書きし送付している。出された意見は会議や勉強会で話し合い、支援に活かしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | ※コロナウイルス感染防止のため密室・多人数でのミーティングは中止。日常的に職員の不安や疑問、意見等を話せる場を作っている。一人一人の意見を大切にし、チームとして一致団結してケアに望めるように努めている。 | 代表者は日々の関わりの中で意見や提案を聞いている。個人的相談にも対応している。派遣業者との連携で終日勤務を半日に変更したり、子育て世代には休日も多くする体制にする事で働きやすい環境作りをしている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 希望休みの受け入れや福祉用具等の購入等による心身の負担軽減に努めている。又、個別で愚痴や悩みを話せる場も設けている。頑張った職員がそれに相応しい報酬を得られる仕組みを設けている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 全職員に学べる機会をつくり、更にやりがいや自信を持って働いてもらえるよう、資格取得に全面協力している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ※コロナウイルス感染予防のため、交流の場への参加は中止している。感染対策を行なったうえで、同業者との短時間の意見交換は随時行い、サービスの向上に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用に至るまで御本人と直接お話する機会を必ず設け、不安や要望等を受け止める努力をしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 利用に至るまでにご家族と直接お話する機会を設けて希望や要望等を受け止め、共に協力して利用者様の生活を支えていけるような関係作りに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 利用者御本人・ご家族が個々に求める支援とグループホームとして提供できる支援（地域の協力機関を含め）を見極め、その時々々の状況に応じて対応して行けるように努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 重度であっても、認知症ケアは決して一方的に施されるものではないと肝に命じ、相互に思い合い、同じ目線・同じ立場にたったケアに努めている。利用者様から学び、教えて頂ける場面を作っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | <p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p> | <p>利用者様の現状を毎月のお便りやメール、来訪時等にご家族へお知らせしている。※コロナウイルス感染防止のため、外出・外泊は中止。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p> | <p>馴染みの人達との関係が途切れないよう、ご家族様・利用者様へ確認したうえで対応している。</p> | <p>コロナ禍の為、ガラス越し面会時に生活状況を詳しく伝えたり電話の取りつぎ支援で関係性が途切れないよう対応している。感染対策を徹底し訪問理美容を活用している。</p> | |
| 21 | | <p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p> | <p>利用者様同士の関係を日々の生活の中で把握し、場合によっては職員が間に入りより良い関係を築いて頂けるように努めている。</p> | | |
| 22 | | <p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p> | <p>長期入院等で止むを得ず契約が終了した場合等、相談員を通してフォローを続け、ご希望があれば、再入所や他サービスの案内も随時行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 以前の暮らしと変わらず、なるべくご本人の希望に沿った生活が出来るように支援している。困難な場合は、ご本人と話し合いをし、検討するように努めている。 | 日々の関わりの中で思いを聞いているが、入浴・おやつ・夜間帯などに思いを話されることが多い。困難な場合は表情や手の動き・粗暴な行動・大声を発する等、特性を把握し、家族からの情報を参考に、職員間で話し合い、本人中心の支援を行っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前に基本情報はサマリー等を通し把握している。又、ご家族からお話を伺ったり個々の人生暦をまとめた情報書を作成し、コミュニケーションに生かしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 施設側のスケジュールを押し付け過ぎないように、個々人の過ごし方を尊重している。心身状態については日々検討を繰り返し、職員間で情報交換・共有に努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎日変化する心身状態に伴って生じてくる課題について、経過観察及び検討を行っている。ご本人様や家族の思い、各職員にみせる多面的な感情や行動をまとめあげ、それを元にチーム全員で検討を重ね介護計画を作成している。 | 本人や家族の意見を基に介護日誌・申し送り・連絡ノート・主治医や薬剤師の意見を総合的にアセスメントし、介護計画を作成している。モニタリングは1～2週毎に行い月単位で評価しながら6ヶ月毎に見直している。状況変化時はその都度見直しをしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日個別記録を記載し（検討事項については詳細な記録を徹底し、必要時は別途アセスメント用紙に記録している）職員は利用様の状態や情報の共有をしている。個別記録等を元に、定期的なケアの見直しを行なっている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 在宅医療や訪問歯科診療、訪問薬剤管理指導等を利用し、多機能性を活かし出来るだけ御本人やご家族の要望に応じた支援が出来るように努めている。※現在、コロナウイルス感染防止の為、利用サービスは縮小している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 教育機関と協力し、小中学校の職場体験の受け入れ、ボランティアさん等に来て頂く等し、外部の方々と協働し支援を行っている。※現在、コロナウイルス感染防止の為、外部からの受け入れは中止している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人やご家族の希望を大切に、出来る限り、入所前からのかかりつけ医に継続して見て頂けるよう支援している。様々な医療機関との連携が、職員の学びの機会にもなっている。 | 主治医は入所前からのかかりつけ医が多い。家族同行で定期的受診をしている。協力医療機関とは24時間体制で連絡できるようになっている。皮膚科・歯科など定期的に訪問診療を実施し結果は家族へ報告している。家族の協力を得て受診する場合、代表者が同伴することもある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>かかりつけ医の看護師や薬局の薬剤師等に気軽に相談しながら、利用者様の健康管理について意見交換を行なっている。施設内では、看護職員が医療知識や手技の指導を行い、学びの機会を設けている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>情報書を提出するだけでなく、利用者様の入院時は出来るだけ職員も付き添い、直接看護師に利用者様の日頃のご様子等を伝えている。入院後は、定期的に来院し情報交換を行い、対応の仕方等を事前に把握しておくように努めている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>かかりつけ医に終末期について説明を受け、ご家族にも定期的にお話をして意向を確認している。又、全員で方針を共有し、最期までその方らしく過ごせるよう、医療機関・ご家族と協力してターミナルケアに努めている。</p> | <p>入居契約時に説明し同意書を貰っている。重度化した場合の指針がある。定期的に主治医・家族・管理者で方針を話し合い、意思確認し、全員で共有し支援に取り組んでいる。家族の希望を管理者が主治医と話し合うこともある。家族の宿泊環境を整え心地よく過ごせるよう心理的に寄り添う支援に努めている。看取り実績もある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>急変時の対応については看護師が指導を行いマニュアルも作成している。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>災害時の対応手順を掲示し、職員へは災害時対応マニュアルを配布している。又、家族や民生委員と共に定期的に避難訓練を行い消防署の指導を受けている。</p> | <p>消防署指導の基で年1回マニュアルを中心に昼想定地震による火災発生避難誘導訓練・消火訓練を実施している。年1回自主訓練を夜間想定で避難誘導訓練をしている。業者による機器の設備点検は定期的実施している。緊急通報は自治会長に連絡し協力を得ている。備蓄として水・米・レトルト食品・乾麺・缶詰等の食料品とカセットコンロ・発電機・防災頭巾等がある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>定期的な言葉遣いについて指導や意識調査、個々人の誇りやプライバシーに配慮したケアを実践している。個人情報については事務所で管理し適切に扱っている。</p> | <p>マニュアルにそって基本的マナー・虐待に関する勉強会を定期的実施している。意識調査を行い尊厳ある言葉遣いについて研修し職員の資質向上に努めている。入室時はノック、入浴やトイレ誘導時は耳元で声かけをする等、羞恥心に配慮した対応を心がけている。</p> | |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>どんな事でも、必ずご本人と相談し、話し合った上で決定している。普段からご本人がどのような思いや希望を持っているかを知り、その意向に沿えるように努めている。</p> | | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>個々のご意向に合わせて生活出来るよう常に心がけ、決して職員側のペースで行なわないよう努めている。職員が焦らずゆとりを持ってケアを行なえる環境も出来ている。</p> | | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p> | <p>定期的に移動美容室に来てもらい、カラー・パーマ等も希望に応じてして頂いている。爪切や髭剃等の整容チェックは毎日行ない、好みの衣類を着られるよう支援している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 盛り付け、下膳や調理の下ごしらえ、食器洗い等をして頂いている。献立は利用者様の好みを反映出来るよう心掛けている。 | 栄養士が利用者の好みを取り入れ献立作成している。食形態も個々人の嚥下機能に応じたものを提供し、代用食の提供もしている。敬老の日のお祝い料理や誕生日にはケーキや羊羹を提供し、おせち料理も彩りよく、食べるのが楽しみとなるよう工夫している。身体能力に応じて、大根おろしやフォークで金柑に穴を開けたり、下膳や茶碗洗いを一緒にしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎月体重管理を行い、栄養士に献立作成を依頼して栄養バランスのとれた食事を提供している又、個々の排泄量を考え、必要量の水分を摂っていただくようにしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 一日4回の口腔洗浄を基本として個別支援を行い、口腔内の清潔や誤嚥性肺炎の予防に努めている。必要な方は定期的に歯科検診を実施している。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 個々の排泄リズムを把握し、排泄の失敗等を減らせるように努めている。出来るだけオムツ等は使用せず、御本人と相談しながら、一人一人の心身の状態にあった支援を行っている。 | 排泄日誌から個々人の排泄リズムを把握し、おむつはできるだけ使用せず身体状況に応じてトイレでの排泄支援をしている。状態を見ながらリハビリパンツのみにしたりテープ式にする等、布下着に移行することを目指して支援している。日中にオムツからリハビリパンツへ変更できた事例がある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 乳製品を多く摂って頂き、水分摂取量にも注意している。日中も適度な運動を支援し、散歩や生活リハビリに取り組んで頂いている。腹部マッサージ等も行なっている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴日や入浴時間はある程度決められているが、出来る限りその方の希望に添えるよう努めている。入浴日以外は希望があれば清拭や足浴等で対応している。 | 夏3回、冬2回で午前中の入浴支援である。シャワー浴の利用者もいる。体調により午後からの支援もあり、同性介助や1:1支援である。入浴順番は記録し変更もある。拒否時は時間調整や職員交代で対応するが無理強いてない。体調に応じて清拭や足浴をしている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 個々の習慣に合わせて、適度な休息をご支援しながらも、活動的に過ごせるよう心がけている。夜間は音や室温、照明等に配慮し、穏やかな気持ちで眠れるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬に関する勉強会やアンケートを実施している。誤薬を防ぐ為、担当者だけでなく職員全員が責任を持って服薬確認を行うシステムを作り徹底している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 月1～2回はイベントを企画し、楽しんで頂けるよう支援している。又、生活歴に合わせて炊事や塗り絵、散歩等好きな事をして頂ける時間を大切にしている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | ※現在はコロナウイルス感染防止の観点より、散歩や病院受診等の已む得ない場合以外の外出等は中止している。 | 年間計画は作成しているがコロナ禍の為、ほとんど外出できず庭での外気浴や少人数での近隣の散歩支援をしている。初詣は密をさけ数日に分けて少人数ずつ出かけた。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金の所持や使用については制限等なく、希望があればご家族と相談の上対応している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している | 希望があれば、自由に電話のやり取りをして頂いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花々や絵、その月の合わせたレクリエーションを取り入れ五感で季節を感じて頂けるように支援している。又、不快な音や臭い等にも配慮し、心地よく安心して生活できる環境作りに努めている。 | 採光は簾やカーテンで調整し、エアコンで過ごしやすい環境を心がけ、毎日の清掃で清潔を維持している。玄関には雛人形が飾られ壁には月毎のイベントの作品を掲示し季節の花を飾っている。テレビやソファや椅子が置かれ、ゆっくりと落ち着く場所を提供し、居心地よく過ごせる工夫をしている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共有空間では自由にお好きな場所で過ごして頂けるようにしている。又、気の合う利用者様同士がどこでもゆっくり語り合えるように配慮している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 身の回りの物は出来るだけ長年愛用されてきた物を使って頂きご家族からのお手紙やお好きな絵・写真等を飾るのをお手伝いしている。毎日の清掃及び定期的なリネン類の交換も実施している。 | 居室は電動ベット・エアコン・ダンスが設置されている。寝具や整理ダンス・神棚・テレビ・ラジオ・アイドルの写真・家族写真などを飾り、毎日の清掃やリネン類の交換も実施し、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | その方に合わせて必要な所に大きな字で札をかける等の工夫をしている。又、その方の力を見極め、出来ることは極力手伝わないように徹底している。 | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1 毎日ある |
| | | ○ | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | ○ | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまに |
| | | ○ | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | ○ | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |